

みんなの あったか まちづくり

社協だより



☎ 大野町社会福祉協議会 ☎34-2130 ホームページ <http://www.ip.mirai.ne.jp/~ono-shakyo>

令和8年度事業計画

【基本方針】

少子高齢化や人口減少が加速する中、単身世帯の増加に伴う「社会的孤立」は、孤独死という深刻な事態を招く喫緊の課題となっています。また、物価高騰の影響や、8050問題、ヤングケアラーといった課題の複雑化に加え、地域に暮らす外国人住民の増加など、生活環境はより多層的かつ多様な変化を見せています。

このような状況下、本会は地域福祉の推進役として、制度の狭間にある課題を柔軟に受け止め、国籍や世代を問わず、誰もが地域の一員として認め合い、支え合える基盤づくりに注力いたします。本年度は、これまでの「ふれあい・いきいきサロン」等の活動を継続・発展させるとともに、行政や民間企業との連携による見守り体制の強化を図り、誰もが孤立しない仕組みづくりを推進します。あわせて、外国人住民を「支援の対象」としてだけでなく「共に地域を創るパートナー」として迎え入れ、言葉や文化の壁を越えて互いに助け合える多文化共生の地域づくりに挑戦してまいります。

また、大規模災害への備えとしては、外国人を含むすべての住民が避難生活において取り残されないよう、災害ボランティアセンターの運営訓練を実施し、真に実効性のある支援体制を構築します。

次世代育成においては、福祉協力校との連携をさらに深め、多様性を尊重する心の醸成を支援します。若年層が地域の福祉・ボランティア活動に触れる機会を創出し、未来の地域福祉を担う人材を育成します。私たちは、すべての住民が「自分らしく、安心して、住み慣れたまちで」暮らし続けられるよう、共感と連帯の輪を広げ、地域福祉力のさらなる向上を目指してまいります。

【スローガン】 「みんなのあったかまちづくり ～つなげよう、多文化と安心の和～」

【重点目標】

- 1 だれもが孤立せず、多様性を認め合い「地域力」を高めるまちづくりの推進
(孤独死防止に向けたネットワークの構築と、多文化共生の意識啓発)
- 2 だれもが(外国人住民も含め)困りごとを気軽に相談し、早期解決につなげる体制の構築
- 3 だれもが(災害時や緊急時においても)安全・安心に暮らせる環境づくり

【活動内容】

法人本部

1 法人運営事業

(財源:会費/寄付金/町補助金/町受託金)

- (1) 運営体制の強化
- (2) 財政基盤の強化
- (3) 社会福祉功績者表彰
- (4) 福祉用具貸与
- (5) 福祉団体等への活動支援
- (6) 広報活動の充実

(7) 法人後見事業

(8) フードバンク事業

2 ボランティアセンター運営事業

(財源:会費)

- (1) 広報活動による啓発
- (2) ボランティア支援
- (3) 災害ボランティアセンターの体制整備

(4) ボランティア連絡協議会との連携

(5) 共同募金街頭募金運動への協力

(6) ボランティア活動保険加入促進

3 生活福祉資金貸付事業

(財源:県社協受託金)

令和8年度 社会福祉協議会予算

(単位：千円)

- 4 心配ごと相談事業
(財源:会費/町補助金)
(1) 心配ごと相談事業
(2) よろず相談事業
- 5 福祉サービス利用援助事業
(日常生活自立支援事業)
(財源:県社協受託金)
- 6 生活困窮者自立相談支援事業
(財源:県社協受託金)
- 7 福祉推進事業
(財源:会費/町補助金)
(1) 福祉委員活動の支援
(2) 小地域支え合い活動推進事業
(3) カフェ活動支援事業
(4) 集いの場における介護予防推進事業
(5) 福祉教育の推進
(6) 生活支援体制整備事業
(7) 生活支援サービス活動団体支援事業
(8) 地区支えあい活動支援事業
(9) ふれあい食事サービス
(10) 高齢者交流事業
(11) 多文化共生基盤整備事業
- 8 共同募金配分金事業
(財源:共同募金配分金)
(1) 一般募金配分金事業
① バースデイ記念品の贈呈
② 「社協だより」の発行
③ 安心カード普及継続支援事業
④ 地域の居場所づくり活動継続事業
⑤ 地域の居場所づくり活動支援事業
⑥ 安心・安全のまちづくり活動支援事業
(2) 歳末たすけあい募金配分金事業
① 在宅介護事業
② 福祉のふれあい広場
③ 障がい者交流事業
④ 貸出用具整備事業

		勘定科目	当初予算額
事業活動による収支	収入	会費収入	3,927
		寄付金収入	553
		経常経費補助金収入	36,159
		受託金収入	8,273
		事業収入	344
		負担金収入	80
		介護保険事業収入	28,249
		保育事業収入	154,170
		就労支援事業収入	2,910
		障害福祉サービス等事業収入	52,020
		受取利息配当金収入	77
	その他の収入	2,462	
	事業活動収入計(1)	289,224	
	支出	人件費支出	247,681
		事業費支出	21,283
		事務費支出	28,909
		就労支援事業支出	2,910
助成金支出		2,822	
その他の支出		2,349	
事業活動支出計(2)	305,954		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		▲16,730	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	1,134
		施設整備等収入計(4)	1,134
	支出	固定資産取得支出	7,069
		施設整備等支出計(5)	7,069
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		▲5,935	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	25,000
		拠点区分間繰入金収入	18,999
		その他の活動による収入	836
		その他の活動収入計(7)	44,835
	支出	積立資産支出	2,379
		拠点区分間繰入金支出	18,999
		その他の活動による支出	9,816
		その他の活動支出計(8)	31,194
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		13,641
	予備費支出(10)		2,310
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		▲11,334	
前期末支払資金残高(12)		50,000	
当期末支払資金残高(11) + (12)		38,666	

高齢者支援

- 1 訪問介護事業
(財源:介護報酬/利用者負担金)
(1) 訪問介護事業
(2) 障害福祉サービス事業
① 居宅介護・重度訪問介護サービス
② 移動支援サービス
- 2 居宅介護支援事業
(財源:介護報酬/町受託金)

障がい者支援

- 1 就労継続支援事業
(財源:訓練等給付費/受託代金/自主製品販売代金)
(1) 就労継続支援本部事業
(2) 受託事業
(3) 自主製品販売事業

- 2 一般相談支援事業
(財源:町受託金/地域相談支援給付費)
- 3 特定相談支援事業
(財源:計画相談支援給付費)
- 4 障害児相談支援事業
(財源:障害児相談支援給付費)

その他の事業

- (1) 日本赤十字社事業
(2) 災害義援金募集事業
(3) 大野町遺族会事務
(4) 老人クラブ活動事業

子育て支援

- 1 こども園事業
(財源:施設型給付費/利用者負担金/補助金)
(1) 東さくらこども園事業
(2) 子育て支援センター事業

令和8年度 社協会費納入のお願い

本会では、住民の皆さまからご協力いただきます会費を財源に、住民参加による地域福祉活動、ボランティア活動、福祉教育への助成などを行っております。

今後も大野町の福祉をより推進していくため、地域の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い致します。

【会員別会費】

- 一般（世帯） 1口 5,000円
- 特別（個人） 1口 2,000円
- 賛助（法人） 1口 5,000円

一般会員の募集と会費納入を、各地区の区長様を通じてお願いしております。

賛助会員については、各法人さま宛にご依頼させていただきます。



令和7年度 共同募金のご報告とお礼

昨年10月から12月までの募金運動で皆さまからご協力をいただいた募金額をご報告いたします。心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金 2,886,073 円

歳末たすけあい募金 924,300 円



皆さまからお寄せいただいた募金は、岐阜県共同募金会に集約後配分され、地域の福祉に役立てられます。

赤い羽根共同募金は、令和8年度の地域福祉活動事業を支える財源となります。

また、歳末たすけあい募金については、右表のとおり各配分金事業に活用させていただきました。

令和7年度歳末たすけあい配分金事業（単位：円）

お見舞金品贈呈事業	499,982
高齢者交流事業（新春お弁当配達）	809,522
障がい者交流事業	32,777
貸出機器整備事業	113,864

日本赤十字社 会員募集と社資納入のお願い

日本赤十字社では、毎年5月に全国一斉に「赤十字運動月間」として、国内外における災害救援救護活動、医療事業、血液事業、社会福祉事業等の赤十字事業を推進しています。

本年も、各地区の区長さまを通じて、会員募集と活動資金（社資）へのご協力をお願いしております。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

【赤十字運動月間】 5月1日～5月31日

問合せ先 日本赤十字社岐阜県支部 大野町分区（社会福祉協議会内） ☎ 34-2130

大野小学校児童会より アルミ缶回収の収益金をご寄付いただきました



▲大野小学校児童会様からの寄付金贈呈式

大野小学校児童会では、環境委員が中心となって、全校児童にアルミ缶の回収を呼びかけ、集まったアルミ缶をリサイクルする活動に取り組んでいます。

3月9日、この活動で得た収益金10,000円を環境委員前期・後期代表児童より「福祉のために役立ててください」とご寄付いただきました。

大野小学校の皆さまありがとうございました。
地域福祉のために大切に使用させていただきます。

善意のご寄付をいただきました

2月1日から3月31日までに皆さまから次のご寄付をいただきました。お寄せいただいたご寄付は、本会が行う社会福祉事業、障がい者支援事業等に活用させていただきます。

・大野小学校児童会	金	10,000円
・AMC大野 目加田 菊次様	お米	2俵
・黒野西改良組合第4班	金	6,501円
・匿名	タオル	40枚
・匿名	洗濯用洗剤・食器用洗剤	

※ご寄付順・敬称略



「福祉講演会」のご案内

ボランティア連絡協議会つどいの開催日に合わせて「福祉講演会」を予定しています。
講師には、関市で地域に開かれた寺院をめざして地域交流やこども支援活動に取り組まれておられる住職の方を迎え、地域における人と人とのつながりの大切さについて講話いただきます。
どなたでも参加していただけますので、お誘い合わせのうえお出かけください。

- 【日 時】 6月18日（木曜日）午後2時～3時
- 【場 所】 総合町民センター 多目的ホール
- 【講 師】 曹洞宗 圓通寺 住職 岡田 英賢 氏
- 【テーマ】 寺子屋から被災地支援へ
「誰もが独りにならない居場所と支え合いを目指して」（仮）

